

一般質問

2月14日
本会議

◆質問と答弁は要旨を掲載しています。
◆一般質問の全文(会議録)は、5月下旬にホームページに掲載します。
◆スマートフォンなどで2次元コードを読み取ると、各議員が一般質問をしている動画にアクセスできます。



石川すみえ

(共産党)



区民の命を守る災害対策

【質問】低所得、高齢者、子育て世帯などに対し、備蓄のための経済的支援をすべき。
【区長】避難所では誰に対しても、食料品や日用品、医薬品などを供給するため、平常時の個々への備蓄支援の必要性は高くないと考えている。



【質問】福祉避難所の協定を結んでいる事業者、利用が想定される当事者と、区が一緒に開設訓練を実施し、個々の課題解決に取り組むべき。
【区長】コロナ禍前に訓練を実施し、各種課題の抽出を行った。今後は、訓練内容を福祉避難所連絡会などで関係

事業者と共有し、事業者主体の訓練を推進していく。
【質問】今まで保育園などを利用していなかった子どもも、災害などの緊急な場合には受入れを可能にすべき。

【区長】柔軟な対応が必要となる場合も想定されるため、児童の心身の健全な発達にも配慮した受入れのあり方について検討していく。

天津わかしお学校の運営基準について

【質問】平成28年のあり方検討最終報告では、「著しく児童数が減少し、回復の見込みがない場合には、閉校を検討する」とあるが、現状は。

【教育長】児童数は増加傾向であり、現時点では閉校を検討する基準に該当していない。

より良い保育を求めて

【質問】赤塚地域に病児・病後児保育室をつくるべき。

【区長】区医師会に実施可能な医療機関の紹介を継続して依頼している。現時点では難しいとの回答だが、引き続き働きかけを行っていく。



小野ゆりこ

(日本維新の会)



太陽光発電設備について

【質問】太陽光パネルは破損した場合でも日光が当たると発電し続ける可能性がある。感電事故に対する区の対応は。

【区長】国や都と連携を図りながら、太陽光パネルの安全技術の進捗を注視しつつ、安全な利用が図れるよう注意喚起や情報提供に努めていく。

メタバース空間を活用した不登校支援の実施について

【質問】不登校児童・生徒の学びの場の選択肢の一つとして、メタバース空間を活用した不登校支援を開始しては。



大野ゆか

(いたばし未来)



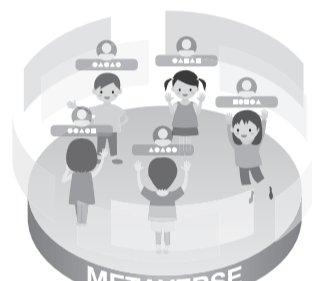
乳児防災について

【質問】災害時のカップ授乳の有効性や授乳方法について周知すべき。

地域の声を生かした板橋交通公園の整備を求めて

【質問】子どもの乗り物は、引き続き無料にすべき。

【区長】自転車などは、基本的に再整備後も無料提供を継続するが、高額な設備投資を伴うものなどは有料とする。以上のほか、社会保障の充実を、物価高騰から区民生活を守るために、「こどもを殺すな!ガザの即時停戦の声」について質問があった

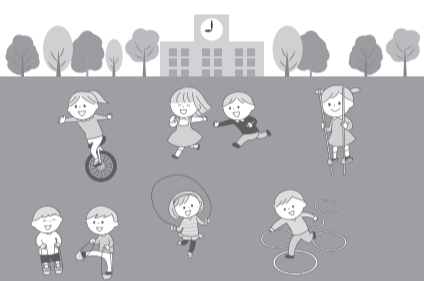


【教育長】今後も、個々の状況に応じた支援の充実を図るため、メタバースの活用も含め、先進自治体の取組みを参考にしながら、新たな方策について検討していく。

【区長】都助産師会が作成している実演動画をホームページに掲載し、災害時に備えて周知を強化する。

小学生の朝の居場所を問う

【質問】幼児の時と登校時間が変わり、家で子どもだけで登校時間を持つなどの影響がある家庭に対し、朝の校庭開放などの政策を検討すべき。



横川たかゆき

(自民党)



能登半島地震から見る板橋の防災について

【質問】自助・共助の観点から防災講習などを継続的に進めている。また、共助の中心となる住民防災組織との連携強化を図るため、避難所開設訓練の支援なども継続的に実施している。

【区長】避難場所として活用されると思われる公園に、これまでベンチを整備すべき。

【区長】小中学校を避難所に指定しており、燃料や食料の確保の課題もあって、区立公園が避難者の炊き出しの場となることは想定していない。

不登校・ひきこもりの支援について

【質問】小中学校の卒業で支援が途切れることがないよう、卒業後も支援が届くような体制づくりをすべき。

【区長】専門相談窓口を5年7月に開設し、卒業後の児童や家族からの相談にも応じ

で登校時間を持つなどの影響がある家庭に対し、朝の校庭開放などの政策を検討すべき。
【区長】6年度に第三期の「こども・子育て支援事業計画」を策定する予定であり、朝の時間帯における小学生支援の必要性を検討していく。
※以上のほか、災害時の性加害を防ぐための啓発活動について質問があった

専門機関につながるなどの支援体制を構築している。

【質問】医療的支援が必要なひきこもりの方に対し、区が行っている相談支援対策は。

【区長】保健師による相談や、精神科医師による「ひきこもり相談」があり、必要に応じて訪問も行っている。

【質問】ひきこもり当事者への就労支援について、区が考えている取組みは。

施設の整備について

【質問】階段の手すりなど、高齢者や障がい者が利用する際の動線を確認すべき。

【区長】施設の改築や大規模改修を行う際には、手すりやスロープの設置などのバリアフリーに配慮した工事を行っている。引き続き、計画的な改修を行い、より利用しやすい施設をめざしていく。

区立見次公園について

【質問】見次公園にある池はここ数年汚れているようだが、現在の水質保全の取組み状況と今後のメンテナンスの予定を示すべき。

【区長】練餌を使った釣りの制限や、炭を活用したろ過施設による水質浄化で、魚などが生息できる程度の水質を確保している。今後も適宜、水質の観察を行い、状況に応じた対策も行っていく。

災害対策について

【質問】協定を締結している沼田市など自治体間の信頼醸成が住民主体で得られるよう、効果的な人的交流事業を検討すべき。

【区長】新たな関係性となる可能性を区の交流資源と捉えつつ、効果的な人的交流事業のあり方を検討していく。

【質問】避難所へのペット同行避難について、獣医師や関係団体と協力を進めるべき。

2024年問題について

【質問】残業規制が建設業や運送業に適用される、2024年問題について、見解は。

【区長】今後も労働環境の確保に加え、公共工事の担い手を支援し、良好な工物品質を維持するため、2024年問題への取組みを進めていく。

【質問】板橋区を居住地と



中村とらあき

(自民党)



して選んでもらえるような子育て支援政策を進めるべき。
【区長】特徴のある子育て支援策を継続的に実施してきたと自負しており、引き続き区の独自政策を推進していく。

学校給食費の無償化を問う

【質問】物価高騰や各小学校で購入している異なる食材費への対応について、見解は。

【教育長】6年4月からの給食費は物価高騰を踏まえ、見直しを行った。この額に基づき無償化補助金の予算を増額し、保護者の負担軽減を図っていく。調味料などは共同購入により学校ごとに価格差が生じないよう取り組んでいる。

地域課題について

【質問】ときわ台駅周辺地区及び上板橋駅北口周辺地区のまちづくりの進捗状況と今後の予定、区長の思いは。

【区長】まちづくり勉強会を重ねており、6年3月に協議会を設立予定。地元主体の協議会を支援することにより、「東京で一番住みたくなるまち」の実現をめざしていく。

【質問】上板橋駅南口の再開発では、自転車駐車が整備される。既存駐車場と併せ、多様な自転車への対応を。

【区長】10年度に区に引き渡されるまでに施設や運営形態を決定したいと考えている。既存の駐車場は、施設の改善に努めるが、当面は情報面でサービスの改善を図っていく。
※以上のほか、区職員の職務、無分別なハトの給餌への対策について質問があった



関係団体が作成したスターキット